

# 教員採用・昇任等関係書類の記入例

○【個人調書】（記入例）	1
○【研究業績・教育業績書】（記入例）	3
○【学界及び社会における活動等】（記入例）	6
○【学内運営活動実績書】（記入例）	7
○ 記入上の注意事項	
【個人調書】	8
【研究業績・教育業績書】	8
【学界及び社会における活動等】	10
【学内運営活動実績書】	10
【抱負書】	11

2019年7月

教 員 人 事 委 員 会

個 人 調 書 (記入例)

履 歴 書			
ふりがな		男・女	
氏 名		現住所	
生年月日 (年齢)	年 月 日生( 歳)		
学 歴			
年 月	事 項		
年 月			
〇〇 . 3	〇〇高等学校卒業		
〇〇 . 4	〇〇大学〇〇学部〇〇科〇〇専攻入学		
〇〇 . 3	同上卒業		
〇〇 . 4	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇学専攻入学		
〇〇 . 3	同上修了		
〇〇 . 4	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇学専攻入学		
〇〇 . 3	同上単位修得退学		
免 許 及 び 資 格			
年 月	事 項		
年 月			
〇〇 . 3	博士 (〇〇) (〇〇大学)		
〇〇 . 3	中学校教諭一種免許状 (〇〇)		
〇〇 . 3	高等学校教諭専修免許状 (〇〇)		
職 歴			
年 月	事 項		
年 月			
自 〇〇 . 4	〇〇県〇〇中学校教諭		
至 〇〇 . 3			
自 〇〇 . 4	〇〇県〇〇高等学校教諭		
至 〇〇 . 3			
自 〇〇 . 4	自宅において〇〇の研究		
至 〇〇 . 9			
自 〇〇 . 10	〇〇大学助手教育学部		
至 〇〇 . 9			
自 15 . 10	福岡教育大学講師教育学部		
至 19 . 3			
自 19 . 4	福岡教育大学教育学部准教授		
至現在 .			



研究業績・教育業績書(記入例)

年 月 日

氏 名 ㊟

研 究 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
<b>著書</b> 1. ○○○○○○○○	共著	○年○月	○○書店, 全○○ページ	(分担) ○○○○ (○○大学○○学部教授) との共著。○○○○ (○～○ページ) を担当した。 (説明) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○した。
2. ○○○○○○○○	単著	○年○月	○○社, 全○○ページ	(説明) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○した。
<b>論文</b> 1. ○○○○○○○○	共著	○年○月	○○大学紀要, ○○○大学, 第○巻, 第○号, ○～○ページ	(分担) ○○○○ (○○大学○○学部教授) との共著。○○○○を担当した。 (説明) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○した。
2. ○○○○○○○○	共著	○年○月	○○大学紀要, ○○○大学, 第○巻, 第○号, ○～○ページ	(分担) ○○○○ (○○大学○○学部教授) ほか20名との共著。○○○○を担当した。 (説明) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○した。
3. ○○○○○○○○	単著	○年○月	○○大学紀要, ○○○大学, 第○巻, 第○号, ○～○ページ	(説明) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○した。









## 記入上の注意事項

### 【個人調書】

#### 1. 年号について

西暦でも和暦でも差し支えないが、各様式の中では統一する。ただし、西暦表記であっても、年度に和暦表記を混在させてもかまわない。（全様式について同様とする。）

#### 2. 年齢について

採用、昇任及び担当の時の年齢を記載する。

#### 3. 学歴について

(1) 高等学校卒業以降の学歴を記入する。

(2) 大学の別科、専攻科については、学歴欄に記入する。

(3) 博士課程を出て未だ博士号を取得していない場合は、「単位修得退学」等と証明書等に合わせて記入する。

#### 4. 免許及び資格について

(1) 博士のみ記載する。（学士、修士は記入しない。）

(2) 専修免許状取得の場合は、対応する一種免許状の記載は必要ない。

#### 5. 職歴について

(1) 空白期間の無いよう年月順に記入する。

(2) 内外地留学等に関する事項で職歴と重複する場合は、職歴の末尾に記入する。

(3) 大学の研究生、聴講生等は、学歴欄ではなく職歴欄に記載する。

(4) 本学の経歴については、法人化まで（平成15年度まで）は、例えば「福岡教育大学教授 教育学部」と記載し、法人化後（平成16年度以降）は「福岡教育大学教育学部教授」のように発令に合わせて記載する。なお、法人化（平成16年4月1日）をまたいで職名が同じである場合は、平成16年4月1日付けでの記載は行わない。

(5) 常勤職員と非常勤職員（非常勤講師）が重複する場合は、非常勤職員（非常勤講師）の記載は省略する。ただし、非常勤職員（非常勤講師）のみが重複する場合は、そのいずれも記載する。なお、非常勤講師の際の担当科目は記入しない。

(6) 大学院を担当している場合は、「福岡教育大学大学院教育学研究科〇〇専攻合担当」等と記入する。

#### 6. 賞罰について

無い場合は、「該当無し」と記載する。

#### 7. 書類作成の日付について

採用の場合は公募開始日から公募締切日まで、昇任の場合は人事開始日（学長からの通知日）から第1回資格審査会の前日まで、のいずれかの日とする。（教育研究業績書も同様とする。）

### 【研究業績・教育業績書】

#### 1. 著書、学術論文等の名称について

(1) 著書、学術論文、学会発表の順に適切に区分し、それぞれの年代順に番号を付して記入する。

(2) 芸術、体育に関する業績の場合は、次のものを記載する。

①音楽・・・曲名                      ②美術・・・作品名

③書道・・・作品名                      ④体育・・・種目名

(3) 著書、学術論文、学会発表がない場合は、「該当無し」と記入する。

(4) 「参考」については、出版予定の著書、投稿中の論文及び本人があげる研究業績を記載してもよい。

## 2. 単著、共著の別について

- (1) 1冊の著書等を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理する。
- (2) 著書、学術論文では、「単著」又は「共著」と記載する。
- (3) 学会発表の場合は、「単独」「共同」のように記載する。

## 3. 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称について

- (1) 数字の表記は、アラビア数字とする。
- (2) 著書、学術論文においては、誌名及び編集機関名又は発行機関名、第〇巻、第〇号、〇～〇ページ、URL 又は媒体の順に記入する。(URL 又は媒体について：電子ジャーナル等の場合は掲載されている Web の URL 又は媒体 (CD-ROM 等) についても記入する。)
- (3) 発表機関がプロジェクト団体の場合は、プロジェクトの正式名称、代表者氏名、職名を記入する。
- (4) 学会発表においては、学会名、場所を記入する。なお、口頭発表の予報、抄録、要旨等が予稿集等に掲載されたときは、その名称、第〇巻、第〇号、〇ページ等を記載する。(電子ジャーナル等の場合は(2)と同様に記載する。)
- (5) 発行所、発表雑誌等は必ず「,」又は「、」で区切る。

## 4. 概要について

- (1) 著書・学術論文等で、概要には「(分担)」「(説明)」と表記して記載する。ただし、単著等の場合は、「(分担)」の表示はしない。
- (2) 「分担」は、その氏名、職名(発行・発表当時の職名)及び自分の分担した範囲とその役割をなるべく具体的に記入する。著書の場合は、担当した範囲のページも記載する。なお、本人の分担範囲を抽出することが困難な場合は、その理由を明記する。(例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
- (3) 分担者の職名は「〇〇大学教授」のように当時の職名を記載する。学部名を入れるとか、「〇〇大」のように略称を使用しても差し支えないが、記載の仕方は統一する。
- (4) 分担者の中には、原則として本人は記載を要しないが、各講座等の判断により、記入しても差し支えない。その場合は、当該著書、学術論文等に記載された順に記載するものとする。
- (5) 分担者は原則として全員を記載するものとするが、分担者がかなりの多数で記載しきれない場合は、「〇〇〇〇(〇〇大学教授)ほか〇〇名」のように代表者(1名又は複数名)を記載する方法でも差し支えないものとする。
- (6) 「説明」には、内容を明確かつ簡潔に記入する。

## 5. 教育上の能力に関する事項について

- (1) 「1. 大学(高等教育)における教育指導の改善への積極的貢献」「2. 大学(高等教育)における教育指導の実績」「3. 大学(高等教育)における教育指導上の努力点」「4. その他」と項目立てをし、該当が無い場合は、「該当無し」と記載する。
- (2) 「1. 大学(高等教育)における教育指導の改善への積極的貢献」については、次に掲げる事項を記載する。
  - イ 作成した教科書・教材、高等教育における教育実践に関する調査・実践報告、論文等  
※研究業績と重複してもかまわない。
  - ロ 高等教育実践に関する研修(ファカルティ・ディベロップメント、大学の授業研究会への授業公開、大学教育実践に関する研究プロジェクトへの参加経験)等
  - ハ その他高等教育実践(大学におけるクラブ活動指導、留学生指導を含む。)に関わる顕著な業績等
- (3) 「2. 大学(高等教育)における教育指導の実績」については、次に掲げる事項を記載する。なお、諸センターに所属する教員にあっては、センターの業務について記載することができる。

- イ 大学において教員（非常勤講師を除く。）として授業を担当した年数（前年度まで）
  - ロ 前年度担当授業科目名
  - ハ 卒業研究・修士論文を指導した学生数（原則として前年度までの過去5年分）
  - ニ その他 ※常勤経験の無い場合で非常勤講師の実績がある場合は、その他として、非常勤講師に関する事項（大学学部名、担当授業科目名）を記載することができる。
- (4) 「3. 大学（高等教育）における教育指導上の努力点」については、次に掲げる事項を記載する。
- イ 特に行っている授業改善の努力点等
- (5) 「4. その他」については、次のような事項等を書くことができる。
- イ 大学（高等教育）における教育経験を有しない者にあつては、詳細なシラバスや担当予定の授業科目の展開構想等
  - ロ 大学（高等教育）以外における教育活動等

## 【学界及び社会における活動等】

### 1. 学界及び社会における活動等について

- (1) 「学会における活動」「その他学界における活動」「社会における活動」と項目立てをし、該当が無い場合は、「該当無し」と記載する。
- (2) 「学会における活動」については、所属学会及び学会・学術団体等役員等を記載する。
- (3) 「社会における活動」については、次の活動等を記載する。
- イ 学外審議会・委員会等の役職・委員
  - ロ 教育委員会・諸学校等との連携（附属学校園を含む）
    - ・研究会・講演会等の講師，審査員等
    - ・授業等の指導助言
    - ・教育相談・カウンセリング・コンサルテーション・コーディネーション等
    - ・出前授業
  - ハ 公開講座・認定講習・教員免許状更新講習・大学開放事業
    - ・事業の企画
    - ・講師
  - ニ 生涯学習及び地域社会等への貢献
    - ・地域の研究団体・サークル・教室等の講師，指導助言，審査員等
  - ホ 受託研究の受入
  - ヘ 国際貢献
    - ・国際交流活動
    - ・共同研究・事業参画等
    - ・その他の国際貢献活動

## 【学内運営活動実績書】

### 1. 学内運営活動について

- (1) 「学内運営活動」については、原則として過去5年間を対象とする。
- (2) 「学内運営活動」については、次に掲げる活動実績等を記載する。なお、採用の場合は前組織における運営活動実績を記載する。
- イ 管理・運営
    - ・役職
    - ・運営企画室，運営部及び委員会での役割，担当
    - ・健康管理担当者等

- ・センター長・ユニット代表者（旧講座主任・旧講座副主任）・専攻主任等
- ・ユニット等内各種業務担当者
- ロ 外部資金等
  - ・GP 等競争的外部資金申請代表者
  - ・GP 等採択事業推進代表者

## 【抱負書】

### 1. 抱負について

(1) 採用・昇任後の教育に関わる抱負について、次に例示する項目等を観点に 1,000 字以内で記述する。

- イ 授業に関する事項
- ロ 卒業研究等の指導に関する事項
- ハ その他人間形成の支援に関する事項